

行政視察報告書

委員会名	総務文教委員会 「特定事件 メタバースを活用したにぎわい創出について」
派遣委員	委員 9名 斉藤雄二委員長、田川浩司副委員長、藤原みどり委員、 河合悠祐委員、川崎久範委員、平山杏香委員、田中宣光委員、 吉岡健委員、小川利八委員
日程／場所	令和5年10月17日（火） 長崎県佐世保市 「針尾送信所VR（メタバース技術）を活用した観光施策等について」
目的	令和2年度より新型コロナウイルス感染症の拡大により、来訪者が激減した佐世保市の文化財である針尾送信所を、メタバース技術により行かなくても体験することができる環境整備、その後の誘客に繋げる取組を行い、高い評価を得ている長崎県佐世保市へ「針尾送信所 VR（メタバース技術）を活用した観光施策等について」の案件で行政視察を実施し、メタバース技術を活用したにぎわい創出の実現可能性について調査・研究を行った。
各委員からの報告 (内容、所感(意見・課題・本市への反映など))	<p>○斉藤委員長 2013年に国の重要文化財に指定された針尾送信所の活用の一つとしてメタバースが用いられていた。針尾送信所の周辺整備も進み、地元保存会も立ち上げられた。見学者は2019年度まで右肩上がりが増え続けたが、新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限などで見学者も急激に減少。事業者の提案としてVRが進められた。13か国語の多言語に対応したVR映像は草加松原などにも取り入れられる取組だと感じた。 外国人誘客を目的とした取組であったので、上野や秋葉原、浅草が近い草加市では非常に参考になった。しかし来てもらうことは可能でも外国人観光客が満足し、「草加市はいいところだ」と知人友人やSNSなどで広げてもらうにはまだまだ改善すべき課題は草加市にあると思う。 佐世保市と嬉野市を視察し、共通で感じたことは、先進技術を用いて草加市にくるきっかけを作ることは可能。しかし受け入れ側の草加市をブラッシュアップする必要性を強く感じた。案内板や道路、マップや飲食店や土産店など、まち一体の取組が必要。 また、メタバースの取組は始まったばかりで、費用対効果が薄く、高コストであったと感じた。首長の判断で進めていたが、うまくいかなかった場合のダメージは計り知れない。今後、技術革新の中で手ごろな予算で取り組めるようになれば、草加市でも積極的に導入を行うべきだと感じた。</p> <p>○田川副委員長 佐世保市へ針尾送信所VR（メタバース技術）を活用した観光施策を視察した。針尾送信所は旧日本海軍が101年前に鉄筋コンクリートを用いて建設した通信所であり、国の近代化産業遺産に登録されている。通信施設として役割を終え、国から譲り受けた佐世保市は民間事業者の技術を取り入れ、デジタル記録と多言語VRコンテンツを整備し、近代土木遺産の価値を国内外に発信し、訪問機会を創出する事業として主導した。 しかし、コロナ禍で訪問見学者が激減、にぎわいを取り戻す事を目的にVRを活用し、事業者提案型補助事業として実施している。実際にVRゴーグルにスマートフォンを装着し、バーチャル体験をした。この針尾送信所VR体験を佐世保市では日本の各地へ出向いて実施し、集客に取組んでいる。本市も、補助事業に当てはまるプロセスと市内民間事業者の協力で、にぎわいづくりを取り入れる必要を感じた。</p>

○藤原委員

1922年に建設、136mの無線塔、設計図は残っていないためどのように建てられたのかは不明とのこと。でも、100年経ってもコンクリートにひび1本入っていないとの説明に驚きました。針尾送信所は『負の遺産』としてのスタートだったとのこと。しかし、建築物としての価値、送信所としての価値等、絶対に残さなければならない遺産との担当者の熱き思いで整備が進められ、地域を巻き込み、保存活動が継続。令和2年度に事業者提案型補助事業としてVR事業を実施。国庫補助を活用することで、市の予算を使わず実施されていることも驚きでした。

○河合委員

佐世保市では、針尾無線塔という旧海軍時代に建てられた100年以上の歴史を持つ塔が立っている。この観光地をアピールするために、VRを用いて空から塔を見ているかのような画などを見ることができるとしている。これは訪日外国人向けに13か国語で対応できるような機能があり、外国人を誘致する狙いがある。

外国人をどれだけ観光地に誘致できるかについて自治体間でも競争が発生している。

草加市は浅草から20分程度で着くことができる場所に位置しているため、佐世保市の考え方を参考にして工夫することで、外国人の訪問数を増加させることは可能であろう。

○川崎委員

佐世保市は元は造船のまち。針尾送信所は平成25年に重要文化財に指定。まちの課題は人口減少。現在は草加市より少ない23万人。現在は観光に力を入れており、IRの誘致にも奮闘している模様。

市への訪問者数は、25年には15,000人、平成30年には31,124人。コロナによる訪問数減に伴い、令和3年にその対策としてVRを導入した。

文化財である送信所を、遠足の場所にしたり、送信所でスポーツ大会、演奏会他、様々なイベントを開催して集客に結びつけている。

もっと人を呼び込む為に、カジノの誘致と、外国人へのアピールを進める反面、文化財の保護は、歴史の一コマを未来につなげていく大事な仕事として、職員の方が誇りを持って取り組んでいる様子が伺えた。

これらの取組は職員の方が相当地元の人と話をし、地域の人々の理解を得て成し得ていることで、きちんと成果を出していることは抑えるべき大事な点。PRのツールとしてVRは有効だと判断し、継続して取組を進めていく模様。

ただしアフターコロナとなり、「行った気になれる」ツールとして作成されたものを、「行くことができる」社会になった今、どう活用していくかは、今後の課題の一つ。いずれはこれらの取組でお金を生み出す、経済効果をもたらすものにしていきたいとのこと。

とにかく、クオリティが高いVRや映像を作り、それを必死にアピールして物事を進めている職員の方の努力に感銘を受けました。その成果がTVドラマ(17才の帝国)の場所にも起用され、文化財整備と観光整備がうまく結び、佐世保市はさらなるまちの発展を見込める状況にあると思います。取組内容もさることながら、取組姿勢に大きな学びがありました。

草加市で導入を検討するには、何を1番、市民の方と共有していくべきかをよくよく検討して、市と市民の方々が一体となって進めていけるような体制を作ることからスタートのように思います。そのためのノウハウはまだ少ないと思われるので、まずは簡単にできそうなテーマで取り組み、経験値を高めていく中で、大きな取組にシフトしていく方法が望ましいかと思えます。

○平山委員

Web VRにて国の重要文化財である針尾送信所を気軽に楽しめるようにモデリングされていて、観光案内として、写真よりもリアルで興味をそそられる仕組みになっています。現時点ではメタバースとして広い空間や資源を再現するよりも、こういったアイコン的なものを個別にVR化してコンテンツにする方法は観光資源の案内としてほかのSNSなどの媒体とも相性の良いもので現実的であると思いました。やはり再生環境がブラウザやスマホなどで簡単に再生できるもので便利で、敷居の低いものが普及・利用しやすいと感じました。

○田中委員

針尾送信所VRは、新型コロナウイルス感染拡大期に観光に訪れることができない状況の克服手段として、事業者提案型で施策が行われたことが非常に興味深い。

また、国の補助金を活用しており、市費負担が少ないことも大きな魅力である。嬉野市のメタバース活用とは一線を画すものであるが、VRレンズを1,000個用意して、東京などで行われるPRの場などで、実際に体験してもらうことは、誘客に繋がる可能性がある。また、VRレンズは100円均一でも購入出来るとのことで、草加市においても、画像処理された映像があれば、気軽にVRを体感することができ、観光施策にメリットになるのではないかと考える。また、VRレンズは安価なものもあるため、ふるさと納税の返礼品と共に寄付者に送付したり、丸井1階の草加市観光案内所に配置することにより、草加市の認知を上げることができ、観光施策に大きな貢献ができるのではないかと考える。

○吉岡委員

長崎県佐世保市の針尾送信所の価値に気づき、送信所を活用した観光施策に取り組むためにはこれまで多くの苦労や思い切った決断があった事と敬服する。

さらに、観光施策に特化した街づくりの為には、コロナ禍ではメタバース活用が非常に有効的な施策だったと思われる。

ただコロナの終焉と共に、バーチャルからリアルに繋げることが観光的には非常に困難な事であると思われるし、今後の送信所の整備やメンテナンス等の経費も課題の一つではないだろうか。

草加市にも、針尾送信所のような歴史的に価値のある施設もあるが、そのような施設へのメタバースの活用ではなく、立地的に観光地ではない草加市の特性を考慮した施策を優先すべきである。

○小川委員

国重要文化財である針尾送信所について、まずは針尾送信所の価値を次世代に継承する佐世保市の責任と強い思いを感じました。

針尾送信所VRについては、VR空間で様々な角度から針尾送信所を見学することができるものでした。ターゲットは訪問外国人としていることから、ナレーションも13か国語に対応するなど認知度を高める工夫をされており、また来訪見学しやすいよう保存活動はもちろん、イベント開催やWi-Fi環境を整備するなど、様々な取組をされており、インバウンド需要も期待される事業だと感じました。

また、佐世保市に移管された当時は針尾送信所を残して行くか難しい判断があった事を聞き、当時の英断が今に繋がっていると感じました。

その他

